

自転車運転者のためのルール

自転車に乗るなら必ずやっておきたい2つの事



販売店で防犯登録する



鍵を複数個付けて施錠する

万が一の事故に備えて

自転車損害賠償保険等に参加しましょう！

令和元年10月より長野県では、事故の相手方の生命や身体の損害を補償するための保険等への加入が義務となりました。

保険の種類と内容

個人賠償責任保険とは

他人にケガをさせたり、他人の物を壊したりして、法律上の賠償責任が発生した場合に支払われる保険です。

損害保険とは

自転車による転倒など、思わぬ事故によって運転者に生じたケガの支払いに備える保険です。

交通災害共済とは

会員（会費納入者）が万一、交通事故にあった場合にお見舞金を支給する制度です。

TSマーク付帯保険とは

自転車安全整備店で自転車を購入したり、点検整備を受けると付帯され、自分がケガをした場合の損害保険と他人にケガをさせた場合の賠償責任保険がセットになっています。自転車そのものに付けられる保険なので、誰が乗っても補償が適用されます。ただし、保証期間は1年で補償には限度があるので注意が必要です。

対象 種類	事故の相手		自分	問い合わせ先
	生命・からだ	財産	生命・からだ	
個人賠償責任保険	○	○	×	各損害保険会社
損害保険	×	×	○	各損害保険会社
交通災害共済	×	×	○	市役所 地域作り課
TSマーク付帯保険	○	×	○	日本交通管理 技術協会

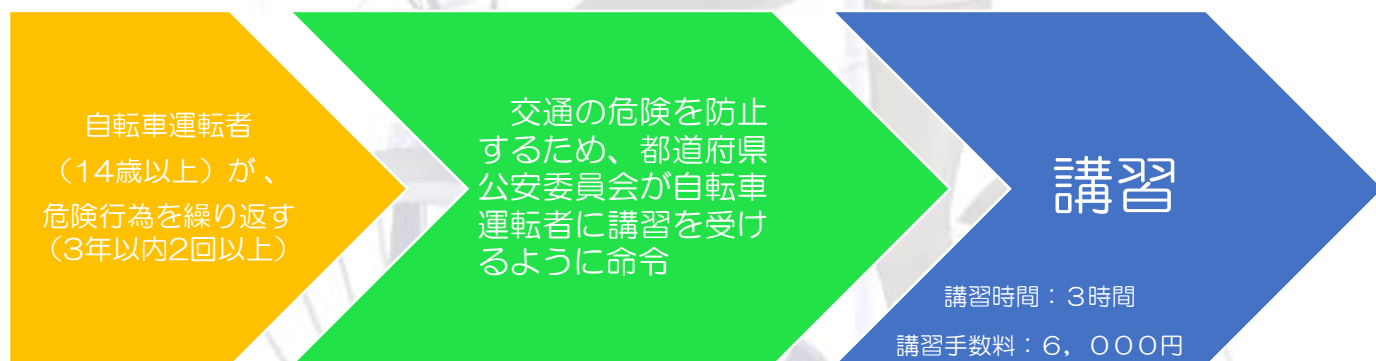
イラスト/雨宮理真

自転車運転中に、危険なルール違反を繰り返すと・・・ 「自転車運転者講習」を受けることになります

自転車運転者講習の対象となる危険行為

- 信号無視
- 一時停止場所不停止
- 酒酔い運転
- 歩道通行時の通行方法違反
- 制御装置（ブレーキ）不良
- 自転車運転通行禁止違反
- 歩行者用道路における車両の義務違反（徐行違反）
- 通行区分違反路側帯通行時の歩行者の通行妨害
- 遮断踏切立入り
- 交差点安全進行義務違反等
- 交差点優先車妨害等
- 環状交差点安全進行義務違反等
- 安全運転義務違反

自転車運転者講習制度の流れ



※受講命令に違反した場合は5万円以下の罰金が科せられます。

道路交通法違反による罰金刑も・・・

携帯電話の使用

携帯電話を手にもって、通話したり画面を注視しながら運転してはいけません。

音楽等を聴きながらの運転

イヤフォン等を利用して音楽を聴くなど、周囲の音が聞こえない状態で運転してはいけません。

傘さし運転

ハンドル、ブレーキ等を確実に操作できなくなるため、傘をさしての運転はいけません。

これらの行為は道路交通法第71条違反により、3か月以下の懲役又は5万円以下の罰金を科せられます。